

「急性冠症候群患者における残存病変の治療戦略」へのご協力のお願い

代表者 所属：循環器内科 職名：部長 氏名： 岡 岳文

1. 目的

多枝病変を有する急性冠症候群（ACS）患者は予後が悪く、非責任病変も治療することで予後を改善させることが報告されている。しかし、非責任病変をいつ治療すべきかは明らかでない。本研究はACS患者において非責任病変を入院中に治療した郡と退院後に治療したまたは責任病変のみを治療した郡の2郡で臨床転帰を比較検討した。

2. 対象と方法

2014年1月から2015年9月までの多枝病変を有するACS症例を対象にした。エンドポイントは1年後のmajor adverse cardiac events(MACE: 全死亡、脳卒中、心不全入院、ACS)とした。

3. 研究期間

平成26年1月1日 ～ 平成27年9月30日

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

上記結果を CVIT 2017 へ発表する。

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記ま

ご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 林 同輔

連絡先：電話 0868-21-8111（担当：循環器内科 難波悠介）